

自治基本条例をつくる会 会議概要

第6回会議	
開催日時	平成19年7月11日(水)18:30~21:00
開催場所	山陽小野田市役所 第2委員会室
出席会員	15名 岩崎秀司、岩本信子、岡村啓二、河野朋子、木林紀生男 草田和枝、徳重洋子、縄田祥子、林久芳、平原廉清 松尾知勝、室住友子、山田義隆、山本克己、弓取康英
出席職員	市長公室長・行政改革課長
協議概要	<p>(1)新入会員紹介 1名  (2)前回会議概要を了承  (3)事務局から資料等説明  大和市ニュースレターを紹介  山陽小野田市条例集を配布  傷害保険加入について報告  (4)会員の主な意見・質疑等</p> <p>まず、7月1日号広報と一緒に全戸配布したニュースレターについて話し合う。  ニュースレターの効果は薄かった。  全市民の半分以下しか読んでいないのではないかと推察する。  ある25人の会合に出席し聞いてみたところ、  そのうちニュースレターを見た人は6名、中身を読んだ人は3名であった。  ニュースレターは単に会員を募るだけでなく、この会の活動をなりを啓蒙する役割がある。  これから出すニュースレターの中でも引き続き募集をかけていく。</p> <p>その他、周知PR活動について、  総務文教委員会の視察で大和市と杉並区に行った市議員に研修したことを  このつくる会で話してもらいたい旨、働きかけてみたい。  最終的には議会にあがる。出来れば多くの議員に参加してもらいたい。  会長名で依頼を出してみてもどうか。そういうことが必要ではないか。  公費をもって自治基本条例を研修された市議員さんにオブザーバーでも  この会に参加してもらい発言して欲しい。是非、声を聞きたい。  議会に対して、この会への参加の呼びかけに併せて、  研修してみた意見、この会に対しての感想をアンケートしてみてもは。  自治基本条例が何故必要か、どういう中身なのか等周知されていない  つくる会の活動、自治基本条例を啓蒙する観点から、講演会等の開催は必要。  逢坂衆議院議員(元ニセコ町長)を招聘してみてもは？  市民にとって分かりやすい意義ある講演会になると思うが。  続いて、市政について自由意見を述べ合う。  市役所の適正人員数・総人件費について緻密な事務量調査に基づいて議論をすべき。  現状の転換を図るために外部監査制度の導入を検討すべき。  補助金の支出に疑問を感じる案件があった。  職員の能力向上を図る必要がある。  研修機会を増加させる等、職員の意識変革を促す対策が必要。  今後の活動についてどうするか。  川崎市の自治基本条例検討委員会の議事録がインターネットで全て見ることができる。  個々の会合で何をどう具体的に話し合ったか、今後の活動の方向性を決めていく上で、  大いに参考になると思う。  悪い点を述べ合うだけでなく改善策を出し合い条例づくりに繋げる議論を。  フォームを定めて議論することも大事だが今は現状について共通認識を深めるため、  忌憚なく意見を述べ合うことも大事にしたい。  次回、自治基本条例の必要性等、会員各々が更に基礎的知識を深めるための勉強会を  開催したい。</p>